

科目の種類	必修	科目名	時事問題	学年	3	単位数	2
コース	文系進学コース						
教科書	学研 「時事問題に強くなる本2009」						
副教材							
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・「政治経済」の授業と関連させ、今日的な問題について取り上げ、問題の内容を理解します。 ・現代社会の政治や経済、国際関係の仕組みと特色について理解します。 ・新聞記事を読みこなせる基礎知識を養い、小論文作成に関わる能力を身につけます。 ・自分の意見や考えを発表できる能力を養います。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業テーマに入る前に、1人ずつ新聞記事からの報告をおこない、自分の考えを発表します。 ・講義による授業が中心となりますが、各々のテーマについて自分なりの考えを持つことが大切なので、適宜質問をしていきます。 ・時事問題は専門用語も多くなかなか理解が困難なものもあります。そこでテキストは昨年度よりあえて解かりやすいものを用意しました。まずはその問題の基礎基本を確実に身につけて次のステップに進みましょう。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・時事問題を読みこなし、理解することが何よりの目的ですから、日々起こり、報道されている社会現象や出来事について、日常的に新聞を読み、理解する努力をすることが大切です。 ・この科目は、単に重要語句を覚えることが大切なのでなく、現代社会に起こる出来事について、「なぜ、どうして」という疑問を持ち、自分の考えを持つことが大切です。 ・自ら考え、調べる習慣をつけるようにしましょう。 							
評価方法 <p>○テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時事問題の概要・重要語句・仕組みなどについて出題します。 ・新聞から最近の時事問題についても出題します。 							
<p>○平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験が中心になりますが、ノート整理や課題、授業への参加状況、出席状況などを加味し総合的に評価します。 ・確認テストなども行う予定です。 							

	学習單元	単元の内容とねらい
前期	1 鳩山由紀夫氏が首相に就任	1 民主党のマニフェストを通して鳩山内閣の今後の課題を検証します。
	2 衆議院選挙で民主党が圧勝	2 民主党圧勝の理由と衆議院選挙の仕組みを学習します。
	3 新型インフルエンザ猛威をふるう	3 洞爺湖サミットを通し、サミットの重要性その内容と成果について検証します。
	4 定額給付金の支給始まる	4 岩手・宮城内陸地震の原因・被害を考え、日本の対策について学習します
	5 中国・九州北部で集中豪雨	5 四川省の大地震とその被害を検証し、世界の災害についても学びます
	6 どうなる？地球温暖化	6 地球温暖化の原因と影響を学び、その対策について考えます
	7 裁判員制度がスタート	7 2009年5月から始まった裁判員制度の仕組みについて学習します。
	8 どうなる？少子高齢化	7 新テロ対策特別措置法の内容を検証し、その問題点を考えます
	9 高速道路料金の値下げが始まる	8 道路特定財源とガソリン税の関係を検証し、その必要性、問題点を学習します
第 2 回		定期考査
後期	10 世界をおそう経済不況	11 ドーハ・ラウンドを通して自由貿易と決裂による影響を学習します
	11 オバマ大統領が誕生	11 アメリカ大統領選挙を通して大統領制と議院内閣制の違いを検証します
	12 北朝鮮が核実験を強行	12 北朝鮮をめぐる様々な問題（ミサイル・核・拉致）を検証します
	13 EUについて知ろう	13 EUの組織と今後の展開について学習します
	14 消費者庁が発足	15 現在でも続く中東情勢についての原因と内容を学習します
	15 地デジ完全移行	16 原油価格・食糧価格が高騰している原因と対策について学習します
	16 新疆ウイグル自治区で暴動発生	17 沖縄県の抱えるアメリカ米軍基地問題について学習します
	17 日本人4人がノーベル賞受賞	18 年金の仕組みと、今抱える年金制度の問題点について学習します
	18 これもチェックニュース+	19 小泉内閣「聖域なき構造改革」の本丸である郵政民営化の内容について学習します。
		20 橋下知事を通して知事の役割と地方行政について学習します
	21 2009年5月から始まる裁判員制度の仕組みについて学習します。	

学

年

末

考

查